議　事　録

会　議　名	令和６年度　第１回学校運営協議会

実施日時	令和６年５月２４日（火）14:00～16:00
会　　場	本校会議室１
出　席　者	□ 会　長　　岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授 ■ 副会長　　盛岡商工会議所事務局長 ■ 委　員　　イオンモール盛岡南ゼネラルマネージャー ■ 委　員　　盛岡市肴町商店街振興組合事務局長 □ 委　員　　本宮二丁目町内会長 □ 委　員　　大宮さんさ踊り保存会踊りの部長 □ 委　員　　盛岡市立本宮小学校長 ■ 委　員　　盛岡市立大宮中学校長 □ 委　員　　ＰＴＡ会長 □ 委　員　　校長 □ 委　員　　副校長 □ 委　員　　副校長 ■ 委　員　　事務長 ※■欠席者
説明者等	□ 総務主任　　□ 教務主任 □ 生徒指導主事　　□ 進路指導主事 □ 保健主事　　□ 教育相談主任 □ 図書主任　　□ 商業科主任 □ 総務部担当

内　　容	１　開会のことば ２　校長挨拶 ３　委員及び教職員紹介（自己紹介） ４　会長・副会長選出 ５　スクール・ポリシー及び学校経営計画の説明 　　校長から説明 ６　各分掌重点目標等の説明 　　各分掌主任から説明 ７　質疑・提言 ８　承認 ９　閉会のことば

＜ 議 事 録 ＞

質疑・提言

委　員：　交通安全の件ですが、今年の３月に町内の方から、自転車に乗る盛商の生徒と車でぶつかりそうになったということで、カーブミラーがほしいという話があり、町内会費で負担して設置をしました。高校生は元気ですし、結構怖いこともあるとその方は言っておりました。その辺の指導もよろしくお願いしたいと思います。

委　員：　ＰＴＡ活動についてですが、昨年度の１１０周年の行事や「まなびの発表会」など、ご父兄の方々にもぜひ見ていただきたいと思って、学校に来て、せっかくですから、保護者の方にもっともっと見てもらう機会があればいいと思いました。

副校長：　まず、昨年度行った「まなびの発表会」につきましては今年度も実施する予定です。昨年同様マリオスでの開催を考えておりました。昨年度の発表会は生徒にとってもいい機会になったと思っておりまして、ただ、発表する生徒が限られてしまったので、次はできるだけ多くの生徒に発表させたいと考えて、昨年よりは時間を増やして実施できないかと検討しているところです。今ご意見いただいたように、より多くの方に見ていただく場にしたいと思っております。保護者や中学生などにも声をかけられればなと考えております。

委　員：　本日、授業参観させていただいて私が高校生の頃より皆さんずいぶん真面目だと思ってみておりました。ＩＣＴの端末を一生懸命使って授業していましたが、小学校では年配の先生方は端末を利用せずに従来通りの指導を行っている方も多いのですが、高校の先生方はどんな苦労があるかとかどう準備しているのかなということは聞いてみたいというのが参観の感想です。あと生徒指導関係ですと、自分が高校生の自転車で轢かれたことがあって、今の高校生を見るとスマホを見ながら耳にはイヤホンをして右側を走っている子も多い。指導もご苦労されているとは思いますが、安全な自転車の乗り方につなげていってほしいと感じております。進路指導については、盛商の進路の合格率は高いんだと思ったのですが、行った先でどれだけ定着して仕事を続けているんだろうか、力をつけて卒業していった生徒さんたちが、どれだけ企業に貢献しているんだろうかということが興味深いところです。保健部だと、性教育講話など今の時代なのでしょうが、触れにくい部分だろうし、高校生だと関心の高い子から質問された時などどうやって答えていくんだろうなど、ご苦労もあるんだろうと思って、どういう風なことをやっているのかを聞いてみたいと感じました。あと、LGBT関係は小学生でもいます。高校生でもいると思いますが盛商さんではどうやっているんだろうというところも聞いてみたいと思いました。以前に行政にいたことがあって、発達障害を持っている子に対して盛商は細やかに丁寧に対応されている学校だと、当時思っていました。今もそうだろうと、ニーズはあるだろうと思うので今はどう取り組んでいるのかを聞いてみたいです。最後に図書館ですが、今の高校生はどんな本を読んでいるのか、興味関心はどこに向いているのかを聞いてみたいと思いました。

説明者：　ＩＣＴについてはおかげさまで県の予算で各教室にプロジェクターはすべて入っておりますし、生徒の方も今年から全員一人一台パソコンで対応するということで始まっています。利用については教員個々に導入速度の違いはありますが、今後先生方の研修も含めて、少しずつ利用度をあげていかなければいけないかなと思っています。今の生徒は小中学校からパソコンを使ってきている子がほとんどですので、高校で利用度が下がることはあってはならないので、今後も頑張っていこうと考えております。

委　員：　岩手県の高校は１年生から全員でＰＣを買うという話になりまして、今の１年生はもう持っている状況でしょうか？

説明者：　個人購入か、購入できない場合は学校備品を貸与という形で一人一台持っております。

説明者：　自転車マナーについては、昨年も苦情は来ていました。同じ方から複数回といった形なので、たぶん頻繁にあるだろうと、反省しているところです。あとは車とぶつかって被害にあうこともあるのですが、先ほど指定いただいたとおり、歩行者とぶつかって加害者になることもあるので、そうなった時に果たして責任を負えるのかといった点を生徒に投げかけて指導して

いきたいなと思っております。本当に基本的な左側走行や、歩道走行禁止などをわかっていない生徒もいるようですので、もう一度その辺から伝えていきたいと考えておりますし、そこが課題だと感じております。

説明者：　進路についてですが、合格率についてお褒めの言葉をいただきありがとうございます。まず、就職についてですが高校卒業から３年後の離職率は、全国平均で３７％前後といわれておりまして、３人に1人は残念ながら最初に就職した企業を辞めている状況です。高校の教員としては、出口指導をした上で、就職先が決まったからあとは本人の努力で頑張りなさいではなく、きちんと企業に育ててもらっているかの追跡調査が必要だと考えております。現在、県の広域振興局から週三日、就職支援員さんを派遣していただいており、その方に本校卒業生の地元企業の定着度調査に回っていただいております。盛岡の全高校から就職した生徒の一年経過後の離職率は１６％ということですが、本校の場合は４．９％ということで他の高校の三分の一の離職率ということで比較的良好な数値であると思っております。ただ、２年前に卒業した生徒で今話題の退職代行業者を通じて一方的に退職を伝えたという者がいるという情報をある企業さんから伺っています。進学につきましては、追跡調査等は行えていないのが現状で、少し気になるのは関東の私立大学に進学した卒業生で、コロナの中リモート講義が続いたせいか、単位の修得状況がよろしくない者がいるということは大学側からお知らせいただいているところです。現在把握できているところは以上です。

説明者：　性教育講話の内容については、今年は産婦人科の先生にお願いして、主に男女の体の違いについて、性に関わる以外の部分でも知識がないために一人で悩んでいて相談に来る生徒もいることから、そういったことを中心にお話しいただきたいと考えています。

説明者：　ＬＧＢＴＱの生徒についてですが、保健の授業の中で関連する単元で対応したり、数年前にトランスジェンダーの生徒がいたことをきっかけに、保健講話の中でデートＤＶのは大が出たときに、そういうことも取り入れていただいて、その年以来ＬＧＢＴＱについても触れてもらうようにしています。それからその生徒との対応をきっかけにして、男女別ではなくジェンダーフリーの制服の採用もあるのではないかと、検討をしている途中です。それから、校内にポスターを掲示して相談しやすい環境を作るように努めています。特別支援教育については、先生方に年２回アンケートを取って、支援の必要な生徒がいないかを調査しているのですが、こちらはアンケートの回収率も低くなかなかうまくいっておらず、生徒の特定等進んでいないのですが、自分についての困り事について相談してくる生徒について、保護者と連絡を取って専門機関で検査を行った生徒もおりますし、そこまでいかなくても得意不得意を私たちの方でアセスメントしてどういう支援ができるかを、個別に計画して対応しようと考えています。

説明者：　高校生がよく読んでいる図書は、やはり手軽に読めるライトノベルが多いです。小論文の役立つ新書もあるのですが、あまり手に取ってはいないようです。

委　員：　「楽メ」で行事のボランティアを募集する場合などはもう少し早めに連絡が欲しいと、いつも思ってきました。働いている方々はシフトの希望をあらかじめ出すことが多くて、高校の行事に参加したいなと思う人はたくさんいるだろうから、早めに募集の連絡を欲しいと思います。それから素晴らしい授業を見てもらうチャンスとしての中学生の一日体験入学が、今年度一日だけになったのはもったいないと感じました。次に今年の体育祭では給水のお手伝いをＰＴＡで行うですけれど、地域清掃活動なども、私一緒に回りたいと思っていて、保護者に参加募集をかけてもいいのではないかと感じています。それから図書の整備ボランティアなども保護者に声かけてもいいのではないかとか、自転車に関しては警察に依頼をして、小学校などで実施しているような安全教室的なものを高校でも開催してはどうかと思って聞いていました。また、いじめられているけれども誰にも言えないという生徒は、たぶんいると思いますが、もう少し相談しやすい環境を作ってあげてほしいですし、教室に入れない生徒のための部屋が足りないと以前に言っていたのはどうなったのだろうかとか考えています。カウンセラーが足りていなようであれば、話を聞いてあげるだけであれば私もボラン

ティアで来ても構わないので言ってください。

説明者：　部屋が不足している話はＰＴＡの時に出た話だと思いますが、今も相談室を使いながら教室復帰を目指しているという生徒は何人かおります。そういう生徒に相談室を使わせると、今度はカウンセリングをする部屋がなくなってしまって、今はそちらの方を探しているところです。現在は会議室を使ってカウンセリング実施しる状態でした。

説明者：　図書のボランティアの話はありがたいですが、本の管理は公務補助員の方が専属でおりますので、そこは大丈夫だと思います。昨年の文化祭では、図書委員会で読み聞かせ会をやったのですが、誰かに指導をしてもらいたいと思ったんですが、なかなか探せない状況でした。もし教えていただけるのであればお願いしたいなと思います。

説明者：　自転車マナーについて警察に来ていただくということは可能だと思います。実際に街頭指導ということを年３回やっておりますが、１回は警察の方に来ていただいて一緒に注意してもらっております。

説明者：　地域清掃かとゴミ拾いは盛商祭の時にも委員会とかではやっているのですが、保護者の方にも来ていただければ非常に、充実した活動になると思います。

説明者：　体験一日入学についてはもともと一日で実施しておったものですが、コロナ渦で密を避けるために二日開催にしていたものですので、一日開催になって参加者が少なくなるということは無いと考えておりました。元の形に戻すということです。

委　員：　ありがとうございました。では私からですが、ＤＸハイスクールはよい機会と捉えて前向きにやっていただけたらなと思っております。具体的にはどのような内容を予定しているのでしょうか。

副校長：　申請時の計画では、一つはプロジェクションマッピングで、「観光」という授業の中で、市とかのイベントの中で、プロジェクションマッピングを活用して環境客の集客のお手伝いができればいいと考えました。実際どこまでお手伝いできるかはわかりませんが、いずれそういった作成スキルや集客の工夫などを学ばせたいと考えております。もう一つは３Ｄプリンターを用いての商品開発です。今机上にあるどら焼きも生徒が共同開発した商品でありますが、食品が商品開発の中心になっているので、３Ｄプリンターを使ってモノをデザインさせて、それを提案していくことができればいいなと考えております。例えば南部鉄器を高校生の視点から提案するというようなことに活用したいと考えています。あとは、プログラミング関係でボール型プログラミングロボットがあるんですが、プログラムによって自走するものですが、特別支援学校などでは、それに色を付けて転がしてロボットに絵を描かせるということをやっていたりします。本校ではそれを小中学校に持って行って、見せながら児童生徒にプログラミングを体験してもらうなどということを考えております。